

第1回 有明海沿岸道路 筑後川・早津江川橋梁設計検討委員会

議 事 概 要

- 日 時 平成23年9月29日(木) 15:00～17:00
- 場 所 福岡市博多区 福岡第二合同庁舎2階 共用第3・4会議室
- 出席者 荒牧委員、島谷委員、柴委員、日野委員、安福委員、山口委員、小路委員(代理)、野口委員

【主な審議内容】

- 規約の承認
有明海沿岸道路 筑後川・早津江川橋梁設計検討委員会規約が承認された。
- 委員長の選出
規約第4条1項に基づき、委員長に日野委員を選出した。
- デザインコンセプトの確認
両橋梁の推奨橋種の選出にあたり、以下のコンセプトを確認した。

全体コンセプト
「昇開橋、デ・レーケ導流堤、三重津海軍所跡をはじめとする既存施設に寄り添い、景観資源との調和を図りながらも洗練された質の高い橋」
筑後川橋梁コンセプト
「デ・レーケ導流堤や昇開橋と共に、筑後の水文化を継承する橋」
早津重川橋梁コンセプト
「三重津海軍所跡に馴染む、緩やかなラインが美しく見える橋」
- 検討対象橋種の確認

筑後川橋梁・・・桁橋、エクストラード橋、斜張橋、アーチ橋、トラス橋
早津江川橋梁・・・桁橋、エクストラード橋、斜張橋、アーチ橋
上記の橋梁から周辺環境との調和や構造特性を踏まえ、検討を進める。
- スケジュールの確認
本年度に推奨橋種の選出を目標として議論を進める。

- その他
委員会の審議内容は公表する。

【委員からの主な意見】

- 歴史的文化施設等との調和・シンボル性については今後、具体の議論の中で明確にしながら進める必要がある。
- 提案された案について第2回委員会において橋梁形式を数案に絞り込む。
- デ・レーケ堤と橋脚幅の関係に十分注意すべきである。